

第4回長崎県鳥インフルエンザ警戒連絡会議次第 (書面開催)

日 時：令和6年2月13日

- 1 鹿児島県南さつま市における鳥インフルエンザ発生状況、本県の防疫対応等
- 2 食の安全・安心に関する対応について
- 3 野鳥における鳥インフルエンザの対応について
- 4 福祉保健部の対応について

長崎県鳥インフルエンザ 警戒連絡会議資料 【農林部】

令和6年2月13日

発生状況等

1 発生農場の概要

- ・所在地：鹿児島県南さつま市
- ・飼養状況：約5,400羽(肉用種鶏)
- ・疫学関連農場：鹿児島県南さつま市(1農場、約7,600羽)

2 経緯

(1) 2月10日(土)、鹿児島県は、同県南さつま市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施。

(2) 同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明。

(3) 2月11日(日)、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

本県の防疫対応

- 1 発生農場との疫学関連施設について
 - ・発生農場と疫学関連のある長崎県の施設なし。
- 2 県内異状の有無の確認及び注意喚起
 - ・2月11日(日)、県内全家きん農場127戸(100羽未満含む)に情報提供し、注意喚起。
 - ・11月17日(金)から、毎週末に家きん農場に対し、注意喚起及び異状の有無の確認を実施(令和6年5月まで継続予定)。

2月12日時点で異状の報告なし。

国内の鳥インフルエンザ発生状況(令和6年2月9日時点)

令和5年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

MAFF
農林水産省

○野鳥 23都道府県101事例 ※詳細は環境省HP参照 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型	検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1 北海道美瑛市	10/4	ハシブトガラス	HPAI	H5N1	51 岐阜県神戸町	11/18	カルガモ	HPAI	H5N1
2 北海道釧路市	10/18	ノスリ	HPAI	H5N1	52 鹿児島県出水市	12/4	環境試料(水)	HPAI	H5N1
3 北海道釧路市	10/26	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	53 鹿児島県出水市	12/7	マナヅル	HPAI	H5N1
4 宮城県大崎市	10/27	ハシブトガラス	HPAI	H5N1	54 熊本県八代市	12/1	セグロカモメ	HPAI	H5N1
5 宮城県登米市	10/29	オオタカ	HPAI	H5N1	55 北海道釧路市	12/4	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
6 北海道別海町	10/25	タンチョウ	HPAI	H5N1	56 千葉県長柄町	12/5	糞便(カモ類)	HPAI	H5N1
7 北海道厚岸町	10/31	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	57 鳥取県湯梨浜町	12/2	糞便(カモ類)	HPAI	H5N1
8 鹿児島県出水市	11/6	環境試料(水)	HPAI	H5N1	58 鹿児島県出水市	12/10	ナベヅル	HPAI	H5N1
9 鹿児島県出水市	11/11	オナガガモ	HPAI	H5N1	59 北海道根室市	12/1	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
10 鹿児島県出水市	11/12	ヒドリガモ	HPAI	H5N1	60 北海道別海町	12/4	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
11 北海道標津町	11/6	タンチョウ	HPAI	H5N1	61 佐賀県佐賀市	12/6	ハヤブサ	HPAI	H5N6
12 岡山県総社市	11/9	ツミ	HPAI	H5N1	62 北海道釧路市	12/7	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
13 北海道別海町	11/6	ハクチョウ	HPAI	H5N1	63 茨城県那珂市	12/7	キンクロハジロ	HPAI	H5N1
14 鹿児島県出水市	11/8	ヒドリガモ	HPAI	H5N1	64 鹿児島県出水市	12/12	マナヅル	HPAI	H5N1
- 北海道釧路市	11/10	マガモ	LPAI	H5N3	65 鹿児島県出水市	12/11	環境試料(水)	HPAI	H5N1
15 鹿児島県出水市	11/13	環境試料(水)	HPAI	H5N1	66 滋賀県米原市	12/12	糞便(カモ類)	HPAI	H5N1
16 岡山県倉敷市	11/13	オナガガモ	HPAI	H5N1	67 北海道えりも町	12/11	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
17 千葉県東金市	11/14	糞便(カモ類)	HPAI	H5N1	68 長崎県諫早市	12/12	ヒドリガモ	HPAI	H5N1
18 鳥取県鳥取市	11/9	野鳥糞便	HPAI	H5N1	69 北海道広尾町	12/12	オジロワシ	HPAI	H5N1
19 鹿児島県出水市	11/19	ヒドリガモ	HPAI	H5N1	70 北海道えりも町	12/13	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
20 北海道中標津町	11/11	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	71 鹿児島県出水市	12/18	マナヅル	HPAI	H5N1
21 北海道大樹町	11/13	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	72 鹿児島県出水市	12/18	ナベヅル	HPAI	H5N1
22 北海道標茶町	11/14	タンチョウ	HPAI	H5N1	73 福岡県福岡市	12/16	ハマシギ	HPAI	H5N1
23 北海道別海町	11/15	タンチョウ	HPAI	H5N1	74 青森県五所川原市	12/19	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
24 宮城県多賀城市	11/18	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	75 鹿児島県出水市	12/18	環境試料(水)	HPAI	H5N1
25 鹿児島県出水市	11/20	環境試料(水)	HPAI	H5N1	76 鹿児島県出水市	12/21	ナベヅル	HPAI	H5N1
26 香川県東かがわ市	11/21	ヒドリガモ	HPAI	H5N1	77 大阪府大阪市	12/13	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
27 高知県高知市	11/21	ハヤブサ	HPAI	H5N1	78 鹿児島県出水市	12/14	環境試料(ハエ)	HPAI	H5N1
28 北海道札幌市	11/24	ハシブトガラス	HPAI	H5N1	79 北海道えりも町	12/19	ハシブトガラス	HPAI	H5N5
29 鹿児島県出水市	11/24	コガモ	HPAI	H5N1	80 高知県土佐市	12/20	ヒドリガモ	HPAI	H5N1
30 北海道浜頓別町	11/17	ヒドリガモ	HPAI	H5N1	81 鹿児島県出水市	12/23	ナベヅル	HPAI	H5N1
31 北海道別海町	11/19	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	82 鹿児島県出水市	12/25	環境試料(水)	HPAI	H5N1
32 北海道厚岸町	11/19	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	83 神奈川県横須賀市	12/28	フクロウ	HPAI	H5N1
33 北海道湧別町	11/19	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	84 北海道浜中町	1/8	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
34 北海道標茶町	11/20	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	85 北海道札幌市	1/8	ハシブトガラス	HPAI	H5N5
35 富山県魚津市	11/21	ヒドリガモ	HPAI	H5N1	86 北海道札幌市	1/9	ハシブトガラス	HPAI	H5N5
36 北海道湧別町	11/21	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	87 群馬県太田市	1/15	オオタカ	HPAI	H5N1
37 北海道標津町	11/22	ハシブトガラス	HPAI	H5N1	88 北海道札幌市	1/11	カラス	HPAI	H5N5
38 宮城県多賀城市	11/23	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	89 北海道札幌市	1/12	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
39 北海道むかわ町	11/22	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	90 北海道浦河町	1/11	オジロワシ	HPAI	H5N1
40 北海道標茶町	11/24	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	91 熊本県玉名市	1/17	ハヤブサ	HPAI	H5N5
41 鹿児島県出水市	11/27	環境試料(水)	HPAI	H5N1	92 北海道釧路市	1/18	ハシブトガラス	HPAI	H5N5
42 鹿児島県出水市	11/28	ナベヅル	HPAI	H5N1	93 北海道札幌市	1/17	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
43 北海道斜里町	11/26	クマタカ	HPAI	H5N1	94 北海道札幌市	1/18	ハシブトガラス	HPAI	H5
44 東京都千代田区	11/28	ノスリ	HPAI	H5N1	95 熊本県熊本市	1/23	ハシブトガラス	HPAI	H5N5
45 北海道函館市	11/28	ハシブトガラス	HPAI	H5N1	96 北海道札幌市	1/22	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
46 佐賀県鹿島市	11/25	ハシブトガラス	HPAI	H5N1	97 北海道札幌市	1/26	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
47 北海道中標津町	11/25	オオハクチョウ	HPAI	H5N1	98 北海道函館市	1/26	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
48 新潟県新発田市	11/28	コハクチョウ	HPAI	H5N1	99 北海道浜中町	1/27	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
49 北海道根室市	11/29	ハシブトガラス	HPAI	H5N1	100 北海道函館市	1/30	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
50 宮城県日南市	11/30	オナガガモ	HPAI	H5N1	101 北海道函館市	2/1	ハシブトガラス	HPAI	H5N1

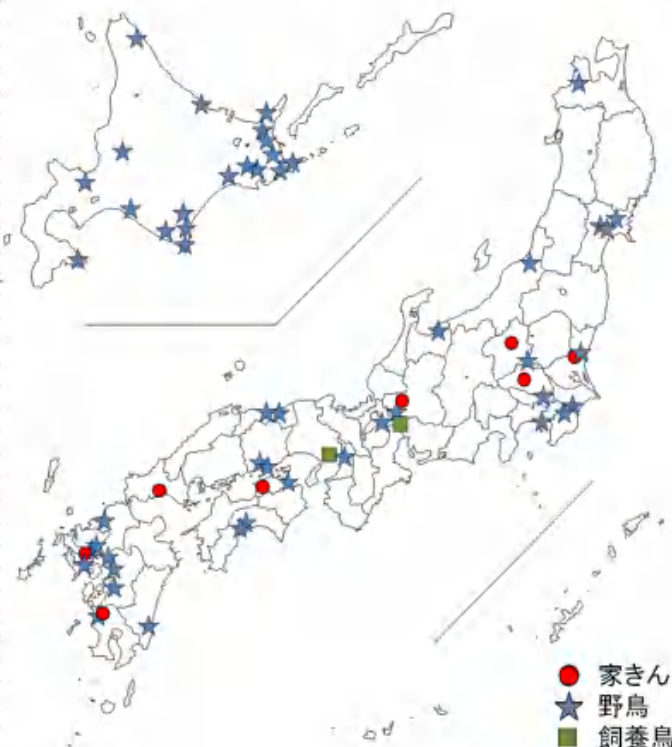
○家きん 8県8事例 (令和6年2月9日時点)

地域	疑似患者判定日	用途	羽数(約)	亜型
1 佐賀県鹿島市	11/25	採卵鶏	4万羽	H5N1
2 茨城県笠間市	11/27	採卵鶏	7.2万羽	H5N1
3 埼玉県毛呂山町	11/30	採卵鶏	4.5万羽	H5N1
4 鹿児島県出水市	12/3	採卵鶏	2.3万羽	H5N1
5 群馬県高山村	1/1	採卵鶏	36万羽	H5N1
6 岐阜県山県市	1/5	肉用鶏	5万羽	H5N1
7 山口県防府市	1/27	採卵鶏等	23羽	H5N1
8 香川県三豊市	2/6	採卵鶏	7万羽	H5

○飼養鳥 2県2事例

検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1 岐阜県海津市	11/23	タカ科	HPAI	H5N1
2 兵庫県神戸市	12/14	モモアカノスリ	HPAI	H5N1

※ HPAI: 高病原性鳥インフルエンザ
LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ



長崎県鳥インフルエンザ 警戒連絡会議 【県民生活環境部】

< 食の安全・安心に関する対応について >
< 野鳥における鳥インフルエンザの対応について >

令和6年2月13日

食の安全・安心に関する対応について

1. 食鳥処理場における確認事項

(1) 発生農場からの搬入状況

処理場の名称	所在地	搬入の有無	羽数	措置状況
A 処理場	諫早市	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	羽	
B 処理場	諫早市	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	羽	
C 処理場	島原市	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	羽	
D 処理場	佐世保市	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	羽	

(2) 本日の検査状況

処理場の名称	異常の有無	異常の状況
A 処理場	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
B 処理場	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
C 処理場	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
D 処理場	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

※食鳥検査：生体時に外観や動作に異常がないか、死んでいる鶏が異常に多くないかといったことの確認、及び解体後に内臓等に病変がないかといった検査を実施

2. 鶏肉・鶏卵の安全性にかかる風評被害の発生防止

内閣府食品安全委員会が示している「鶏肉・鶏卵は安全であり、それらを食べることで感染することはない」という考え方をホームページでお知らせするとともに、保健所の協力を得ながら、県民からの相談等に応じる体制を整えております。

鶏肉・鶏卵の安全性にかかる風評被害の発生防止(1)



2004年 3月11日

(注) 2014年 4月24日更新

鳥インフルエンザについて

鶏肉・鶏卵の安全性に関する食品安全委員会の考え方

鶏肉・鶏卵は「安全」と考えます。

我が国の現状においては、以下の理由から、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザ(ウイルス)がヒトに感染する可能性はないと考えています。

- ・ ウイルスがヒトの細胞に入り込むための受容体は**鳥の受容体とは異なること**
- ・ ウイルスは酸に弱く、**胃酸で不活化**されることが考えられること

(注) 高病原性鳥インフルエンザと低病原性鳥インフルエンザをともに対象にした考え方です。

☆ **海外への渡航の場合は、注意が必要です。**→ [補足]参照

☆ 我が国の鶏肉や鶏卵については、発生時の家畜防疫上の措置や日々の殺菌・消毒等の衛生管理が実施されています。→ [参考情報]参照

☆ なお、食中毒予防の観点から、鶏肉を食べる場合は、生で食べることはひかえ、中心部までよく加熱する等十分注意してください。

〔補足〕

海外(主に東南アジア等)への渡航の場合は、以下の注意が必要です。

1. 海外(主に東南アジア等)ではヒトへの感染事例が報告されていますが、感染機会としては、本病に感染した鶏の羽をむしる・解体するといった作業に従事したとき、感染した闘鶏の世話をしたとき、感染しても特に症状を示さないアヒルと直接接触したときなどが報告されています。また、まれなケースとして、感染したアヒルの生の血液を使用した料理を食べたときなどが考えられると報告されています。さらに、中国ではH7N9亜型(注1)の低病原性鳥インフルエンザが流行し、主として家きんと接触したヒトへ感染した例が確認されています。

そのため、海外へ渡航の際は生きた鶏など家きんのいる市場や家きんを解体している場所への立入りは避け、万一、鳥と接触した場合には手をよく洗ってください。

2. 鶏などの家きんに鳥インフルエンザ(注2)等が集団発生している地域(東南アジア等)では、鶏肉や鶏卵を含む、家きんの肉や家きん由来製品については、食中毒予防の観点からも、十分な加熱調理(全ての部分が70℃に到達すること)や適切な取扱いをすることが必要です。

注1) H7N9は鳥には低病原性ですが、ヒトでは重症化することもあります。

注2) 高病原性鳥インフルエンザは、H5N1のほか、H5N2、H5N8、H7N3、H7N7等が確認されています。

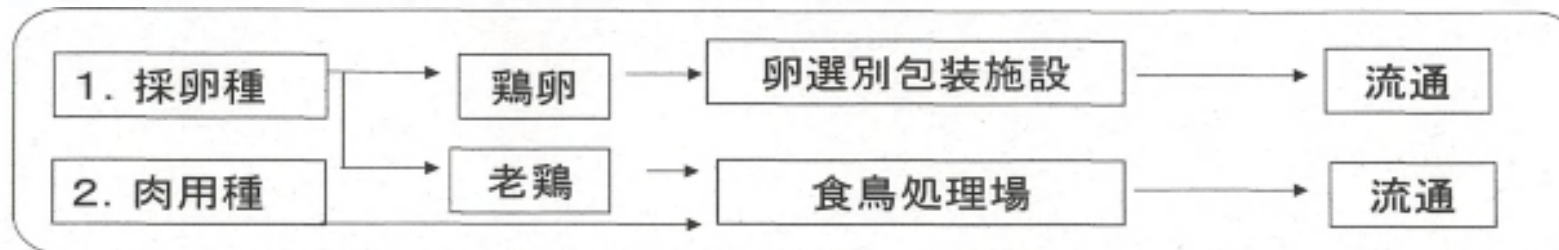
注3) 最近までのWHO等による情報を確認して更新しました。

鶏肉・鶏卵の安全性にかかる風評被害の発生防止(2)



〔参考情報〕

1. 我が国においては、鳥インフルエンザが発生した場合には、感染鶏や同一農場の鶏は全て殺処分されるなどの家畜防疫上の措置が行われるため、本病に感染した鶏等が市場に出回ることはありません。
2. さらに、我が国で生産される鶏肉・鶏卵は、以下の安全のための措置が講じられています。
 - 国産の鶏卵は、通常、厚生労働省の定める「衛生管理要領」に基づき、卵選別包装施設(GPセンター)において、次亜塩素酸ナトリウムなどを含む洗浄水で洗卵・消毒されています。
 - 国産の鶏肉は、食鳥処理場において生体検査が実施されています。このため、病気にかかっている疑いのある鶏は食用にされません。



鶏肉・鶏卵の安全性にかかる風評被害の発生防止(3)

啓発チラシ

**ご安心ください、流通している
鶏肉や鶏卵は安全です。**

長崎県内において「高病原性鳥インフルエンザ」の発生が確認されておりますが、長崎県では徹底した防疫措置を講じており、感染拡大の防止と安全・安心な鶏肉や鶏卵の供給を図っております。



これまで、鶏肉や鶏卵を食べることにより
鳥インフルエンザが人に感染した事例は
報告されていません。

長崎県産の鶏肉・鶏卵の利用や
風評被害の防止にご理解ご協力をお願いします。



 長崎県



発行：長崎県 食品安全・消費生活課
（電話：（095）896-2366）

野鳥における鳥インフルエンザの調査状況

○環境省が定める対応レベルに応じた
『死亡野鳥等調査』を実施

現在は「**対応レベル3**」の対応を実施中

○県内での調査状況(R5年11月～)

検査数 20羽(2/12現在)
(高病原性確定 1羽、陰性確定 19羽)

○全国の野鳥における鳥インフルエンザ発生状況

R5年10月～ 101件(2/8現在)
(北海道48、鹿児島22、熊本3、佐賀2、
長崎・福岡・宮崎 各1、他)

○ 鹿児島県南さつま市の発生農場周辺10km圏内が、環境省により『野鳥監視重点区域』に指定され、鹿児島県により**野鳥の監視が強化**されています。

< 発生状況に応じた対応レベルの概要 >

発生状況 \ 対象地	全 国
通常時	対応レベル1
国内単一箇所発生時	対応レベル2
国内複数箇所発生時	対応レベル3
早期警戒期間(9月～10月)	対応レベル3

対応レベルが上がると、より少ない死亡個体数で検査

< 過去3年間の県内の調査結果 >

年 度	検査羽数	結 果
R2年度	16	陰性16
R3年度	7	陰性7
R4年度	13	高病原性2、陰性11

死亡野鳥等に対する県民の皆様へのお願いについて

○野鳥との接し方については、HP等において、従来より以下のとおり周知しています。

県民の皆様へのお願い（野鳥との接し方について）

鳥インフルエンザウイルスは、野鳥観察など通常の接し方では、ヒトに感染しないと考えられています。
正しい情報に基づいた、冷静な行動をお願いいたします。

同じ場所でたくさんの野鳥などが死亡している場合には、
県庁、最寄りの県振興局総務課、市役所または町役場へ
ご連絡ください。

死亡した野鳥など野生動物の死亡個体を片付ける際には、
素手で直接触らず、使い捨て手袋等を使用してください。

日常生活において野鳥など野生動物の排泄物等に触れた
後には、手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配
する必要はありません。

野鳥の糞が靴の裏や車両に付くことにより、鳥インフル
エンザウイルスが他の地域へ運ばれるおそれがあります
ので、野鳥に近づきすぎないようにしてください。特に、
靴で糞を踏まないよう十分注意して、必要に応じて消毒
を行ってください。

不必要に野鳥を追いついたり、つかまえようとするのは
避けてください。

【県の連絡先】

連絡先(担当部局)	代表電話	直通電話
県民生活環境部自然環境課	代表 095-824-1111	自然環境課 095-895-2381
島原振興局管理部総務課	代表 0957-63-0111	総務課 0957-63-5036
県北振興局管理部総務課	代表 0956-23-4211	総務課 0956-22-0374
五島振興局管理部総務課	代表 0959-72-2121	総務課 0959-72-4852
壱岐振興局管理部総務課	代表 0920-47-1111	総務課 0920-47-4396
対馬振興局管理部総務課	代表 0920-52-1311	総務課 0920-52-1206

長崎県鳥インフルエンザ 警戒連絡会議資料 【福祉保健部】

令和6年2月13日

福祉保健部の対応について

1. 県内で家きんに鳥インフルエンザが発生した場合の対応

(1) 防疫作業従事者の健康管理と補助等

動員者リストの作成

防疫作業従事者の健康管理及び防護服着脱補助のため、約270名(県内10保健所及び福祉保健部より動員)の動員者リストを作成済み。防疫作業の規模に応じ最大41人の動員班を8時間交代で編成し、現地に派遣。

必要装備品の在庫量の確認(各保健所へ装備)

健康調査等に要する血圧計、体温計、手指消毒薬等の在庫量を確認済み。防疫作業における後方支援センターへ動員者が現地へ持参。

自動血圧計： 44台

体温計 : 344本

手指消毒薬: 146

防疫作業従事者への注意喚起

防疫作業従事者に対し、3ページ目掲載の別紙1を用いて現地で防疫作業従事前に説明。

(2) 養鶏農場の従業者に対する健康調査

養鶏農場の従業者に対し健康調査を行い、鳥インフルエンザウイルス感染を疑う発熱等の症状を呈していないか確認。健康調査の結果、無症状の場合は、健康観察として、1日2回の体温測定および保健師による問診を10日間行う。

2. 県民への対応

一般の住民の方へ、鳥インフルエンザに関する正しい知識や、相談窓口を設置し、その周知を図るためホームページを開設。(別紙2参照)

配布資料等

別紙1

保健所

防疫作業に従事いただく皆様へ

防疫作業従事大変お疲れ様です。

鳥インフルエンザは、この病気にかかったトリと接触して、羽や粉末状になったフンを吸い込んだり、そのトリのフンや内臓に触れた手を介して鼻からウイルスが入ったりするなど、ヒトの体内に大量のウイルスが入った場合に、ごくまれにかかることが知られています。

ヒトが鳥インフルエンザにかかったことが確認された例は、感染防御の対策を取らずに極めて無防備な状態で、鳥インフルエンザに感染したトリと濃厚な接触があった場合に限られます。

なお、防疫作業に従事するにあたって下記を熟読のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

※防疫作業従事者除外基準に該当する方は防疫作業に従事できません。

【防疫作業従事者除外基準】

- ・慢性心疾患で通院加療中の者
- ・慢性呼吸器疾患で通院加療中の者（喘息を含む）
- ・慢性腎疾患の者
- ・免疫機能不全の者
- ・鳥アレルギーの者
- ・アルコール禁断の者
- ・医師から重度の肉体労働を止められている者

(1) 作業従事前の健康調査

防疫作業を行う前に保健所による健康調査を受けてください。事前に鳥インフルエンザ防疫従事者問診票の所定の事項に記入するとともに、体温を測定し記入してください。

(2) 作業中の留意事項

- ①脱水症を起こさないよう、十分に水分を取ってください。
- ②作業中のけがや、気分や体調が悪くなった場合は無理をせず、すぐに申し出てください。
- ③防護服等を脱ぐ際は、脱衣方法を守り、感染の防止に注意してください。
- ④作業中、防護服等に不備があった場合、すぐに責任者に申し出るとともに指示に従って下さい。

(3) 作業終了後の健康調査

- ①作業終了後の健康状態を把握するため、健康調査を行います。
- ②作業に従事した方は、必ず終了後の健康調査を受けてください。

(4) 作業終了後の経過観察

最終作業日の翌日から10日間は、必ず健康観察（体温、呼吸器症状、その他自覚症状等）を行い、その結果を防疫作業従事者用体温記録用紙に記入してください。なお、健康観察期間終了後、当該記録用紙は作業従事者を出した各職場（課・地方機関）で取りまとめ後、居住地を管轄する保健所（県外居住者である場合は発生地を管轄する保健所）へ提出してください。

体調に異常がみられた場合は、直接病院を受診せず必ず最寄りの保健所にご連絡ください。

（保健所の連絡先は裏面に記載しています）

別紙2

鳥インフルエンザ（ヒトの健康に関すること）

鳥インフルエンザウイルスの人への感染について

ヒトについては、この病気にかかった鳥類と接触して、羽や粉末状になったフンを吸い込んだり、触れたりすることによって、大量のウイルスが体内に入ってしまった場合に、ごくまれにかかることが知られています。

日本では、この病気にかかった鶏等は安全に処分されており、通常の生活で病気の鳥と接触したり、フンを吸い込むようなことはほとんどないことから、住民の皆さんが鳥インフルエンザに感染する可能性はきわめて低いと考えられます。

高病原性鳥インフルエンザとは

鳥インフルエンザのなかでも、鶏に感染させた場合に、高率に死亡させてしまうようなものを高病原性鳥インフルエンザといいます。その原因となるウイルスは高病原性鳥インフルエンザウイルスといいます。高病原性鳥インフルエンザウイルスとしては、A/H5 亜型のものと A/H7 亜型のものが知られています。

鳥インフルエンザと新型インフルエンザと関連

鳥インフルエンザ＝新型インフルエンザではありません。

鳥類に対して感染性を示す A 型インフルエンザウイルスによる感染症が、鳥インフルエンザです。一方、新型インフルエンザは、既知の鳥インフルエンザウイルスや豚インフルエンザウイルスの遺伝子変異し、ヒトからヒトへと効率よく感染する能力を獲得した、新たな遺伝子を持つインフルエンザウイルスによる感染症です。

鳥インフルエンザの御相談窓口

鳥インフルエンザについて、ご相談は最寄の保健所までお尋ねください。

保健所名	住所	電話番号	保健所名	住所	電話番号
長崎市保健所	長崎市魚の町4-1	095-829-1153	佐世保市保健所	佐世保市高砂町5-1	0956-24-1111
西彼保健所	長崎市滑石 1-9-5	095-856-0691	五島保健所	五島市福江町 7-2	0959-72-3125
県央保健所	諫早市栄田町 26-49	0957-26-3304	上五島保健所	新上五島町有川郷 2254-17	0959-42-1121
県南保健所	島原市新田町 347-9	0957-62-3289	杵岐保健所	杵岐市郷ノ浦町本村 620	0920-47-0260
県北保健所	平戸市田平町里見 11126-1	0950-57-3933	対馬保健所	対馬市厳原町宮谷 224	0920-52-0166
県感染症対策室	長崎市尾上町 3-1	095-895-2466			

長崎県福祉保健部